

【本資料は、2021年4月29日付で発表された Standard Chartered PLC 1Q'21 Results（一部抜粋）の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータード PLC – 2021 年度第 1 四半期の業績

将来に関する記述

本資料には、現在における予想もしくは意見、または将来の事象に関する想定に基づく「将来に関する記述」が記載されていることがあります。かかる「将来に関する記述」は、過去に発生したまたは現在発生している事実のみに関係している記述ではない、という点で識別することができます。「将来に関する記述」には、「可能性がある」「予定である」「期待する」「意向である」「推定する」「予想する」「確信する」「計画する」「試みる」「続ける」といった文言、またはこれらに類似した意味を有する他の文言が使用されています。

こうした記述の内容は、その性質上、既知または未知のリスクおよび不確実性を伴い、また、実際の結果またはグループの計画もしくは目的がかかる記述に明示または暗示される内容と著しく相違する原因となりうるその他の要因によって、影響を受けることがあります。かかる「将来に関する記述」を受領した場合は、それに依拠するべきではなく、またかかる依拠に関して十分な注意を払う必要があります。実際の結果が「将来に関する記述」に明示または暗示される内容と著しく相違する原因はいくつかあります。たとえば、世界、政治、経済、ビジネス、競争、市場、規制に係る様々な力や状況の変化、将来の為替や金利、税率の改定、将来の事業の統合や売却、その他グループに固有の要因などがあげられますが、これらに限りません。本資料に記載されるすべての「将来に関する記述」は、過去もしくは現在のトレンド、またはグループの活動に基づくものであり、かかるトレンドや活動が将来も続くことの表明とみなされるべきではありません。

本資料に記載される記述はいずれも、利益の予測を意図するものではなく、また、当年度または将来の年度におけるグループの利益が、グループの過去のまたは公表された利益と同じかこれを上回ることを暗示するものでもありません。それぞれの「将来に関する記述」は、当該記述の日付時点のみにおける記述です。グループは、法令により求められる場合を除き、本資料に記載される「将来に関する記述」の内容が、新しい情報、将来の事象その他により影響を受けるか否かにかかわらず、当該記述の修正または更新を行う義務を、明示的に放棄します。

実際の結果またはグループの計画もしくは目的がかかる「将来に関する記述」に明示または暗示される内容と著しく相違する原因となるリスクおよびその要因については、グループの2020年アニュアルレポートをご参照ください。

本資料に記載される内容は、いかなる法域においても、証券その他の金融商品の売買の申し出または勧誘ではなく、また、証券その他の金融商品またはその他の事項に関する推奨または助言でもありません。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は1ドルの1/100を意味します。

本資料に記載する情報は監査を受けていません。

文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、本資料において「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区（香港）、マカオ特別行政区（マカオ）および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マカオ、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナムが含まれ、「アフリカ・中東（AME）」には、アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ガンビア、ガーナ、イラク、ヨルダン、ケニア、レバノン、モリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、シエラレオネ、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦（UAE）、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれます。また「ヨーロッパ・米州（EA）」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フィジー、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国が含まれます。

本資料に記載する表では、空欄はその数値が発表されていないことを示し、ダッシュはゼロであることを示し、nmlは僅少であることを示しています。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社では、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供していません。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは HKSE 02888 および LSE STAN.LN です。

【参考訳に関するご留意事項】

この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

スタンダードチャータード PLC — 2021 年度第 1 四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は、報告通貨ベースで 2020 年度としています。特別要因調整後の業績に含まれていない「再編関連コスト」および「その他の項目」のリコンリエーションは、原文「Standard Chartered PLC 1Q'21 Results」の 26～31 ページに記載されています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「当行グループの第 1 四半期の業績は非常に好調でした。多くの市場で景気回復が進み、取引高と収益性が改善しました。このことは特に、四半期として過去最高の業績をあげたファイナンシャルマーケットとウェルスマネジメントのビジネスにおいて顕著にみられました。差別化されたサステナビリティ商品で市場をリードする取組みなど、我々が戦略的に注力している分野が順調に伸びています。低金利の環境下ではありますが、2021 年下半期にはビジネスの回復基調が勢いを増し、収益の増加につながるかと予想しています。」

戦略的優先事項の進捗状況

- **ネットワーク:** デジタルツールを利用した取引が引き続き伸びをみせ、44%増加しました(前四半期比3ppt増)。
- **富裕層:** 過去12か月間の顧客の増加数は40万件を超えました(うち3分の2はマスリテールから移行)。
- **マスリテール:** 香港のバーチャル・バンク「Mox」の顧客は年初来50%増加し、10万件に達しました。
- **サステナビリティ:** 市場初のサステナブル・トレードファイナンス商品をローンチしました。

2021 年第 1 四半期の業績の概要

- **収益**は39億ドルへ9%減収、為替変動の影響および債務評価調整(DVA)の3億500万ドルの減少分を除いたベースでは3%の減収となりました。
 - **純資金利ざや(NIM)**は 122bps で概ね安定。前四半期から 2bps 低下しましたが、20 年第 4 四半期の単発的な受取利息計上の影響を除けば横ばいとなりました。
 - その他の収益は DVA を除けば 4%の増収となりました。
 - ウェルスマネジメント、ファイナンシャルマーケットの成長とバランスシートの拡大により、純資金利ざやが前年同期比 30bps 低下したことによる純金利収入への 3 億 8,000 万ドル相当のマイナスは、ほとんど打ち消されました。
- **費用**は25億ドルへ6%増加、為替変動の影響を除いたベースでは4%の増加となりました。
 - これは主に業績に連動した報酬が正常な状態に戻ったこと、およびコストが削減されて投資に充当されたことによります。
- **信用減損**は 2,000 万ドルと、前年同期比 9 億 3,600 万ドル、前四半期比 3 億 5,400 万ドル減少しました。
 - **ステージ 1 および ステージ 2:** ネットで 3,500 万ドルの戻入れとなりました(1,400 万ドルの調整の戻入れを含みません)。現在、ステージ 1 および ステージ 2 の調整額は合計 3 億 3,900 万ドルになっています。
 - **ステージ 3:** 信用減損額は 5,500 万ドル(前年同期比 4 億 5,000 万ドル減、前四半期比 2 億 6,900 万ドル減)となりました。当四半期中には多額の新規エクスポージャーは発生しませんでした。
 - **ハイリスク資産:** 当四半期で 3 四半期連続の減少となりました(当四半期中に 11 億ドル減少、前年同期比ではおおむね横ばい)。
- **特別要因調整後の税引前利益**は、減損額の減少とビジネスの回復基調の効果が純資金利ざや縮小によるマイナスの影響を上回り、18%増益の 14 億ドルになりました。
 - 法定ベースの税引前利益は 59%増益の 14 億ドルとなりました。20 年第 1 四半期の数字には営業権(のれん代)減損額 2 億 5,800 万ドルを含みます。
 - 有形資本利益率(RoTE)は 220bps 上昇して 10.8%となりました。
- **税金**は 3 億 1,400 万ドル。地域の変更と増益により、特別要因調整後の実効税率は 22%へ 8ppt 低下しました。
- 当行グループの**バランスシート**は拡大を続け、依然として磐石かつ流動性が高く、十分に分散されています。
 - 顧客向け貸付金その他の金銭債権は 20 年 12 月 31 日から 4%(100 億ドル)の増加、顧客口座は 1%増加しま

した。

- 預貸率は 62.7%(20 年 12 月 31 日時点では 61.1%)、流動性カバレッジ・レシオは 150%(同 143%)でした。
- **リスク加重資産(RWA)**は 2,770 億ドルと、20 年 12 月 31 日から 78 億ドル増加しました。
 - 信用リスク RWA は 60 億ドル増加。資産増加の影響の一部が、資産構成、為替変動、RWA の最適化を目指した取組みの効果によって相殺されました。市場リスク RWA は 10 億ドル増加しました。
- 当行グループは依然として、十分な自己資本と高い流動性を有しています。
 - **普通株式等 Tier 1(CET1)比率**は 14.0%と、目標レンジである 13-14%の上限です(20 年 12 月 31 日時点では 14.4%)。
 - 40bps の増益の効果が、RWA の増加により 50bps、2 億 5,500 万ドル相当の自己株式買戻しにより 10bps、さらに普通株式中間配当の発生分によって、打ち消されました。
- **1 株当たり利益**は 8.1 セント(32%)増加し、33.5 セントとなりました。

見通し

当行グループは事業を展開するいくつかの主要市場が、今後数四半期かけて、世界経済の景気後退からの脱却を主導していくと確信しています。米国の財政刺激策の規模とワクチン接種のペースが世界経済の見通しを大きく好転させていますが、当行グループは、回復への道は平坦ではないとの見方を維持しています。

上記のような明るい見通しに基づき、当行グループは、特に以下の点において、以前に示した21年度の予想に対する確信を強めています。

- 純資金利ざやがおおむね安定してきたため、今年下半期から、収益は前年同期比プラスに転じるとみています。収益は21年度には為替変動の影響を除けば20年度と同様の水準に達し、22年度からは中期的な目標としている5-7%の成長に戻ると考えます。
- 費用については、デジタルツールへの投資を続けるため21年度も前年度比で微増すると予想していますが、為替変動の影響を除けば100億ドル未満にとどまると考えます。
- 21年度にはローン損失率が当行グループの中期的な目標である35-40%の範囲以下となり、減損費用は前年度比で大幅に減少すると予想しています。

損益計算書

| | 2021年 第1四半期 (百万ドル) | 2020年 第1四半期 (百万ドル) | 増減 ¹ (%) |
|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 特別要因調整後ベースの業績 | | | |
| 営業収益 | 3,929 | 4,327 | (9) |
| 営業費用 | (2,494) | (2,358) | (6) |
| 信用減損 | (20) | (956) | 98 |
| その他減損費用 | (16) | 154 | (110) |
| 関連会社利益 | 47 | 55 | (15) |
| 税引前利益 | 1,446 | 1,222 | 18 |
| 普通株主に帰すべき利益／(損失) ² | 1,053 | 810 | 30 |
| 有形資本利益率(RoTE)(%) | 10.8 | 8.6 | 220bps |
| 費用収益比率(%) | 63.5 | 54.5 | (900)bps |
| 法定ベースの業績 | | | |
| 営業収益 | 3,939 | 4,335 | (9) |
| 営業費用 | (2,528) | (2,368) | (7) |
| 信用減損 | (17) | (962) | 98 |
| 営業権(のれん代)減損 | - | (258) | 100 |
| その他減損費用 | (28) | 92 | (130) |
| 関連会社利益 | 47 | 47 | - |
| 税引前利益 | 1,413 | 886 | 59 |
| 税金 | (314) | (369) | 15 |
| 当期利益／(損失) | 1,099 | 517 | 113 |
| 親会社株主に帰すべき利益／(損失) | 1,092 | 510 | 114 |
| 普通株主に帰すべき利益 ² | 1,027 | 477 | 115 |
| 有形資本利益率(RoTE)(%) | 10.6 | 5.1 | 550bps |
| 費用収益比率(%) | 64.2 | 54.6 | (960)bps |
| バランスシートと資本 | | | |
| 総資産 | 804,903 | 764,916 | 5 |
| 総資本 | 52,275 | 50,004 | 5 |
| 普通株主に帰すべき平均有形株主資本 ² | 39,464 | 37,927 | 4 |
| 顧客向け貸付金その他の金銭債権 | 292,084 | 271,234 | 8 |
| 顧客口座 | 441,684 | 422,192 | 5 |
| リスク加重資産 | 276,670 | 272,653 | 1 |
| 総資本 | 58,531 | 53,458 | 9 |
| 総資本(%) | 21.2 | 19.6 | 160bps |
| 普通株式等 Tier 1 | 38,711 | 36,467 | 6 |
| 普通株式等 Tier 1 比率(%) | 14.0 | 13.4 | 60bps |
| 純資金利ざや(%) (調整後) | 1.22 | 1.52 | (30)bps |
| 預貸率(%) ³ | 62.7 | 61.9 | 0.8 |
| 流動性カバレッジ率(%) | 150 | 142 | 8 |
| 英国レバレッジ率(%) | 5.1 | 4.9 | 20bps |
| 普通株式1株当たりの情報 | | | |
| 1株当たり利益—特別要因調整後ベース ⁴ | セント 33.5 | セント 25.4 | セント 8.1 |
| —法定ベース ⁴ | 32.6 | 15.0 | 17.7 |
| 1株当たり純資産額 ⁵ | 1,433 | 1,357 | 76 |
| 1株当たり純有形固定資産額 ⁵ | 1,270 | 1,201 | 69 |
| 期末時点の普通株式数(百万) | 3,118 | 3,147 | (1) |

1 資産、債務、リスク加重資産以外については、増減は改善／(悪化)を示します。

2 普通株主に帰すべき利益／(損失)は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者への支払配当を控除した後の数値です。

3 本比率を算出するにあたっては、顧客向け貸付金その他の金銭債権の総額から、リバース・レボ契約等担保貸付金、および、ストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を除いており、一方で、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権を含んでいます。総顧客口座数は、FVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。

4 特別要因調整後ベースまたは法定ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。

5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

補足財務情報

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

| | 21年第1四半期 | | | 合計 (百万米ドル) |
|--------------------------------|--|--|-------------------|----------------|
| | 法人営業・ コマーシャルバンキング 部門 ¹ (百万米ドル) | コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門 ¹ (百万米ドル) | その他の項目 (百万米ドル) | |
| 営業収益 | 2,192 | 1,500 | 237 | 3,929 |
| 外部収益 | 2,082 | 1,401 | 446 | 3,929 |
| セグメント間収益 | 110 | 99 | (209) | - |
| 営業費用 | (1,302) | (991) | (201) | (2,494) |
| クレジットコスト・税引前営業利益 | 890 | 509 | 36 | 1,435 |
| 信用減損 | 30 | (49) | (1) | (20) |
| その他減損費用 | (16) | - | - | (16) |
| 関連会社利益 | - | - | 47 | 47 |
| 特別要因調整後の税引前利益 | 904 | 460 | 82 | 1,446 |
| 再編関連コスト | 1 | (9) | (25) | (33) |
| 営業権(のれん代)減損 | - | - | - | - |
| その他の項目 | - | - | - | - |
| 法定ベースの税引前利益 | 905 | 451 | 57 | 1,413 |
| 総資産 | 391,048 | 133,333 | 280,522 | 804,903 |
| うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ² | 194,714 | 130,841 | 21,620 | 347,175 |
| 顧客向け貸付金その他の金銭債権 | 139,745 | 130,725 | 21,614 | 292,084 |
| 損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 | 54,969 | 116 | 6 | 55,091 |
| 総債務 | 492,999 | 174,556 | 85,073 | 752,628 |
| うち顧客口座 ² | 322,272 | 170,172 | 8,503 | 500,947 |
| リスク加重資産 | 170,176 | 54,610 | 51,884 | 276,670 |
| 特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%) | 11.2 | 17.8 | 1.7 | 10.8 |
| 費用収益比率(%) | 59.4 | 66.1 | 84.8 | 63.5 |

| | 20年第1四半期 | | | 合計 (百万米ドル) |
|--------------------------------|--|--|-------------------|----------------|
| | 法人営業・ コマーシャルバンキング 部門 ¹ (百万米ドル) | コンシューマー/ プライベート/ ビジネスバンキング 部門 ¹ (百万米ドル) | その他の項目 (百万米ドル) | |
| 営業収益 | 2,544 | 1,483 | 300 | 4,327 |
| 外部収益 | 2,547 | 1,207 | 573 | 4,327 |
| セグメント間収益 | (3) | 276 | (273) | - |
| 営業費用 | (1,190) | (1,015) | (153) | (2,358) |
| クレジットコスト・税引前営業利益 | 1,354 | 468 | 147 | 1,969 |
| 信用減損 | (749) | (198) | (9) | (956) |
| その他減損費用 | 153 | - | 1 | 154 |
| 関連会社利益 | - | - | 55 | 55 |
| 特別要因調整後の税引前利益 | 758 | 270 | 194 | 1,222 |
| 再編関連コスト | (76) | (5) | (11) | (92) |
| 営業権(のれん代)減損 | - | - | (258) | (258) |
| その他の項目 | - | - | 14 | 14 |
| 法定ベースの税引前利益 | 682 | 265 | (61) | 886 |
| 総資産 | 396,393 | 119,901 | 248,622 | 764,916 |
| うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ² | 190,902 | 117,679 | 13,037 | 321,618 |
| 顧客向け貸付金その他の金銭債権 | 140,744 | 117,471 | 13,019 | 271,234 |
| 損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 | 50,158 | 208 | 18 | 50,384 |
| 総債務 | 479,796 | 163,619 | 71,497 | 714,912 |
| うち顧客口座 ² | 314,286 | 160,120 | 8,244 | 482,650 |
| リスク加重資産 | 169,057 | 50,531 | 53,065 | 272,653 |
| 特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%) | 9.1 | 10.4 | 4.5 | 8.6 |
| 費用収益比率(%) | 46.8 | 68.4 | 51.0 | 54.5 |

1 組織再編により、「法人営業部門」と「コマーシャルバンキング部門」が「法人営業・コマーシャルバンキング部門」に、「プライベートバンキング部門」と「リテールバンキング部門」が「コンシューマー/プライベート/ビジネスバンキング部門」に、それぞれ統合されました。

2 顧客向け貸付金その他の金銭債権にはFVTPL(損益を通じて公正価値で保有されるもの)が含まれ、「顧客口座」にはFVTPLおよびレボ契約が含まれています。

補足財務情報

地域別の特別要因調整後の業績

| | 21年第1四半期 | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------|---------------|
| | アジア ¹ (百万米ドル) | アフリカ・ 中東 (百万米ドル) | ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル) | その他の項目 (百万米ドル) | 合計 (百万米ドル) |
| 営業収益 | 2,817 | 590 | 550 | (28) | 3,929 |
| 営業費用 | (1,572) | (393) | (366) | (163) | (2,494) |
| クレジットコスト・税引前営業利益／(損失) | 1,245 | 197 | 184 | (191) | 1,435 |
| 信用減損 | (58) | (7) | 47 | (2) | (20) |
| その他減損費用 | - | - | 2 | (18) | (16) |
| 関連会社利益 | 47 | - | - | - | 47 |
| 特別要因調整後の税引前利益 | 1,234 | 190 | 233 | (211) | 1,446 |
| 再編関連コスト | (5) | (1) | (19) | (8) | (33) |
| 営業権(のれん代)減損 | - | - | - | - | - |
| その他の項目 | - | - | - | - | - |
| 法定ベースの税引前利益／(損失) | 1,229 | 189 | 214 | (219) | 1,413 |
| 総資産 | 468,748 | 57,618 | 269,560 | 8,977 | 804,903 |
| うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ² | 247,424 | 28,548 | 71,203 | - | 347,175 |
| 顧客向け貸付金その他の金銭債権 | 235,572 | 27,110 | 29,402 | - | 292,084 |
| 損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 | 11,852 | 1,438 | 41,801 | - | 55,091 |
| 総債務 | 418,288 | 39,102 | 224,097 | 71,141 | 752,628 |
| うち顧客口座 ² | 334,908 | 31,465 | 134,574 | - | 500,947 |
| リスク加重資産 | 178,541 | 50,640 | 49,848 | (2,359) | 276,670 |
| 費用収益比率(%) | 55.8 | 66.6 | 66.5 | nm ³ | 63.5 |

| | 20年第1四半期 | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------|---------------|
| | アジア ¹ (百万米ドル) | アフリカ・ 中東 (百万米ドル) | ヨーロッパ・ 米州 (百万米ドル) | その他の項目 (百万米ドル) | 合計 (百万米ドル) |
| 営業収益 | 2,973 | 661 | 546 | 147 | 4,327 |
| 営業費用 | (1,525) | (403) | (343) | (87) | (2,358) |
| クレジットコスト・税引前営業利益 | 1,448 | 258 | 203 | 60 | 1,969 |
| 信用減損 | (649) | (211) | (102) | 6 | (956) |
| その他減損費用 | 165 | - | - | (11) | 154 |
| 関連会社利益 | 53 | - | - | 2 | 55 |
| 特別要因調整後の税引前利益 | 1,017 | 47 | 101 | 57 | 1,222 |
| 再編関連コスト | (50) | (7) | (14) | (21) | (92) |
| 営業権(のれん代)減損 | - | - | - | (258) | (258) |
| その他の項目 | - | - | - | 14 | 14 |
| 法定ベースの税引前利益／(損失) | 967 | 40 | 87 | (208) | 886 |
| 総資産 | 456,691 | 63,555 | 233,572 | 11,098 | 764,916 |
| うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ² | 222,593 | 32,338 | 66,687 | - | 321,618 |
| 顧客向け貸付金その他の金銭債権 | 212,150 | 30,344 | 28,740 | - | 271,234 |
| 損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金 | 10,443 | 1,994 | 37,947 | - | 50,384 |
| 総債務 | 397,747 | 37,875 | 238,508 | 40,782 | 714,912 |
| うち顧客口座 ² | 312,244 | 30,059 | 140,347 | - | 482,650 |
| リスク加重資産 | 177,754 | 51,414 | 45,944 | (2,459) | 272,653 |
| 費用収益比率(%) | 51.3 | 61.0 | 62.8 | 59.2 | 54.5 |

1 組織再編により、「中華圏・北アジア」と「ASEAN・南アジア」が「アジア」に統合されました。

2 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には FVTPL (損益を通じて公正価値で保有されるもの) が含まれ、「顧客口座」には FVTPL およびレボ契約が含まれています。

3 僅少